



学校だより

6月15日号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

「かけがえのない存在」

3か月ぶりに子どもたちが学校に帰ってきました。6月1日に久しぶりに子どもたちの姿を見たときは「やっと、この日を迎えることができた！」と胸がいっぱいになりました。どの子もしっかりとした眼差しで、元気よくあいさつをして校舎に入ることができました。

保護者の皆様には、登校前の健康観察や登下校の付き添い等、ご協力をいただきましてありがとうございました。特に3年生以上の子どもたちは、隔日の午前・午後登校でリズムを整えることが大変だったと思います。暑い日も多く心配でしたが欠席者も大変少なかったです。保護者の皆様のサポートでこの2週間を乗り切ることができました。心より感謝を申し上げます。

また、地域の皆様にも、早速、登下校の見守り活動等に取り組んでいただいております。「学校が再開することを待っていました。」「やっぱり子どもたちの姿がなければ、学校ではありませんね。」など、地域の皆様からもあたたかい言葉をかけていただき、喜びを分かち合いました。どれほど、地域にとっても子どもたちの存在が大切なものかを改めて実感しました。

この2週間は、学校再開第1期で時間や活動内容が限られていました。それでも、子どもたちはきまりをしっかりと守りながら、一生懸命に学校生活に取り組みました。

1年生は、担任の先生やクラスの友だちに慣れ、学校探検をして緑園東小学校の一員として生き生きと過ごしています。2週間の学校生活で、日に日に小学生らしくなっていく姿が頼もしくさえ見えます。2年生は、早速、野菜の栽培活動に取り組み始めました。自分の植木鉢や学年の畑に苗を植えて、成長を楽しみに世話を始めました。学年が一つ上がったことでパワーも倍増しました。

3年生以上は、A、Bグループに分かれての活動でした。最初は久しぶりの学校生活に緊張気味でしたが、少人数で集中して学習に取り組むことで学習のペースを取り戻しつつあります。

教室のうしろのドアから子どもたちの姿を見ると、一人ひとりの背中が「一生懸命さ」を雄弁に物語っています。また、2チームに分かれながらも学級を意識して、いろいろな工夫をした2週間でした。自己紹介カードを書いて会えない友だちの机の上に置いたり、ビデオメッセージを送り合ったり、授業中の自分たちの意見をお互いのチームのために残しておいたり、会えない友だちへの思いを伝える姿がいろいろな教室で見られました。

子どもたちの一つひとつのしぐさ、表情、発言・・・すべてが輝いて見えた2週間でした。

子どもたちのいない3か月を経験し、私たち教師は、子どもたち一人ひとりがいかに「かけがえのない存在」であるかを強く感じました。きっと、子どもたちも久しぶりに会う友だちの存在のすばらしさ、価値ある一人ひとりが集まっているからこそその学級や学年集団の大切さを実感していると思います。

15日からは、第2期としての新しい学校生活が始まります。全校児童がそろい、体育等の授業も始まりますが、まだまだ、細かく注意を払いながらの生活が続きます。また、暑い日が続くので、学校でも熱中症予防に気をつけてまいります。子どもたちも張り切っている分、心身共にかなりの疲れがたまっていると思います。引き続き、保護者の皆様には、お子様の健康にご留意いただき、何かご心配なことがありましたら遠慮なく学校までご相談ください。また、今後もホームページに通知や学校再開後の子どもたちの様子についてアップをしていきますので、引き続きご活用ください。